

岸和田市議会議員候補者

えびはら ともこ (新人)



【質問 1】

Q. 子どもの権利条約について

A. 知っている

【質問 1-1】

Q. ①とお答えの方にお聞きします。「子どもの権利条約が国際連合で1989年に採択されてから34年、日本が批准してから29年になります。そのような中、岸和田市において、子ども権利条約が、子どもはもとより、おとなである市民にも十分に周知されているとは言えません。今後、子どもの権利条約に基づく子どもの人権や子どもの性（リプロダクション・生殖・命・性の関係性など）など、地域や校区で子どもに関わるおとなや教育の場で取り組むことについてどう思われますか？

A. 日本では性を恥ずかしい、わざわざ教えなくてもいいという風潮が強い。性犯罪が一向に後をたたない性の商品化・低年齢化が進む中、子どもの人権を守る為に、大人も子どもも、子どもの権利条約、性教育の必要性を強く感じます。

【質問 2】

Q. 子どもの現状に対し、課題だと思えることはなんですか？課題と、課題解決のための施策をお答えください。

A. 大人も子どもも、正しい性教育ジェンダー平等教育

【質問 3】

Q. 国では昨年、子ども基本法ができましたが、岸和田市でも子どもの権利を保障する子ども権利条例が必要だと思いますか？

A. はい

【質問 3-1】

Q. 質問 3 ではいとお答えした方にお聞きします。理由をお答えください。

A. 大阪では、子どもの貧困、不登校、校内暴力など子どもを取り巻く問題が多く、岸和田でも例外ではないと聞いています。全ての子どもたちが自分の権利を知り、胸を張って自分らしく生きていけるように、と思います。

【質問4】

Q. 岸和田市の親子のつどいのひろば（子育て支援センター）をご存じですか？

A. 知ってる

【質問4-1】

Q. 岸和田市では2カ所の子育て支援センター（公・民）がありますが、同じ校区に（山側）位置しています。2カ所だけではなく全体を見通しての子育てサポートを充実するためにも増設することが必要だと思いますか

A. 必要

【質問5】

Q. 在宅での子育て（保育園や幼稚園・こども園に行っていない時期の在宅での子育て）の環境について改善する必要があると考えますか

A. ある

【質問5-1】

Q. 「ある」と答えた方は、上記環境が整備されていない原因は何だと考え、どのような取り組みが必要ですか

A. 核家族化で子育て経験の伝承が難しかったり、夫婦共に非正規雇用の家族が増えている中、時間的にも精神的にゆとりが持ちにくい状況があると思います。ひとりぼっちの母親、保育者を作らないよう、悩みや喜びを共有でき、適切なフォローがされる場が必要と考えます。貴法人のような活動が広がること、それを市がきちんと支援することが必要と考えます。

【質問6】

Q. 岸和田市の子育て環境について（子育てをする上で、必要な地域資源や施設など）

A. 充実していない

【質問6-1】

Q. ②の充実していないとお答えした方にお聞きします。どのような取り組みをお考えですか

A. 地域支援を知っている方はよく利用され活用されていると思いますが、全く知らない方も多くあると思います。子育て施策として市がそういった家庭を支援し、利用の普及につながれば良いと考えます。

【質問7】

Q. 議員として子育て支援について取り組みたい施策は何ですか

A. 市立幼稚園・保育所再編個別計画の見直しを求めます。小中学校統廃合計画撤回を求めます。